

## 【資料】

### 『盲導犬と視覚障害に関する社会意識調査（市民対象）』アンケート回収集計結果

公益財団法人 日本盲導犬協会

※%は小数点第一位で四捨五入しています

#### Q1. あなたの性別をお答えください。

男性 50.0% 女性 50.0%

#### Q2. あなたの年齢をお答えください。

16~19歳 16.7% 20代 16.7% 30代 16.7% 40代 16.7% 50代 16.7% 60代 16.7%

#### Q3. あなたのお住まいの地域をお答えください。

北海道 4.3% 青森県 1.0% 岩手県 1.1% 宮城県 2.6% 秋田県 0.8% 山形県 0.6% 福島県 0.9%  
茨城県 1.8% 栃木県 0.6% 群馬県 0.8% 埼玉県 6.9% 千葉県 7.3% 東京都 16.5% 神奈川県 8.3%  
新潟県 2.6% 富山県 1.1% 石川県 0.6% 福井県 0.7% 山梨県 0.5% 長野県 1.2% 岐阜県 1.3%  
静岡県 1.8% 愛知県 5.5% 三重県 0.7% 滋賀県 0.4% 京都府 1.8% 大阪府 8.8% 兵庫県 4.5%  
奈良県 1.2% 和歌山県 0.7% 鳥取県 0.3% 島根県 0.3% 岡山県 0.9% 広島県 1.7% 山口県 0.8%  
徳島県 0.3% 香川県 0.9% 愛媛県 0.6% 高知県 0.4% 福岡県 2.9% 佐賀県 0.3% 長崎県 0.9%  
熊本県 0.8% 大分県 0.7% 宮崎県 0.4% 鹿児島県 0.7% 沖縄県 0.4%

#### Q4. 現在の職業を教えてください。

会社員(総合職) 10.1% 会社員(一般職) 19.3% 会社員(契約社員・派遣社員) 5.9%  
会社役員・会社経営 1.5% 自営業・自由業 5.8% 公務員(教職員除く) 1.4% 教職員 0.5%  
パート・アルバイト 11.8% 専業主婦・主夫 11.9% 学生 18.2% 無職 9.9% 定年退職 3.0%  
その他 0.8%

#### Q5. お勤め先の業種を教えてください。

複数当てはまる場合は、もっともあなたと関わりが強いものをお知らせください。  
農業・林業・漁業・鉱業 0.4% 情報通信業 6.7% 建設業 3.9% 製造業 17.1% 運輸・輸送業 4.5%  
電気・ガス・水道業 1.0% 流通業・卸売業・小売業 11.3% 金融業(銀行または証券)・保険業 4.1%  
不動産業・物品販賣業 3.2% 宿泊業・飲食店 3.5% 生活関連サービス業・娯楽業 6.0% 教育業 5.1%  
医療業 6.3% 福祉業 3.4% 出版・印刷業 0.4% メディア・マスコミ・広告業 1.3% 商社 0.7%  
非営利団体またはNPO 2.2% その他 18.7%

#### Q6. あなたの身の回りに、視覚障害や、その他の障害をお持ちの方はいらっしゃいますか。

あてはまるものを全てご選択ください。

視覚障害の方がいる 4.0% 視覚障害以外の障害の方がいる 7.7% 身の回りにはいない 89.5%

Q7. あなたはこれまでに、視覚障害者や盲導犬についての情報に触れる機会(動画や記事、授業やSNS、話を聞く等)がありましたか。

あった 32.4% なかった 67.6%

Q8. 前問で視覚障害者や盲導犬についての情報に触れる機会「あった」と回答した方にお伺いします。

何をきっかけに視覚障害や盲導犬の情報に触れましたか。あてはまるものを全てご選択ください。

テレビ番組を見た(ニュース報道以外) 58.4% ニュース報道を見た 38.0% CMを見た 24.9%

映画・ドラマ・小説などの作品を見た 30.1% 新聞記事を見た 12.3% WEB記事を見た 19.5%

小中学校等で授業を受けた 39.1% 職場での研修を受けた 7.7% イベントを見た 8.5%

盲導犬ユーザーやその家族など当事者から直接聞いた 11.8% SNS(一般人からの投稿)で見た 12.6%

インフルエンサー、YouTuber、TikTokクリエイター、VTuberからの発信 11.8%

自分で調べた 9.0% 講演を聴講した 9.8% 盲導犬訓練施設を見学した 4.9%

その他 4.1% (その他の内容:募金箱を見た、アンケート、店舗のシールなど)

Q9. どこで見聞きすれば、盲導犬や視覚障害についての情報が、より注目され意識されると思いますか。

あてはまるものを全てご選択ください。

テレビの番組 36.7% ニュース報道 23.8% CM 19.8% WEB記事 15.2% 新聞記事 7.5%

映画・ドラマ・小説など、盲導犬を題材にした作品 27.3% 学校教育等 21.3% 講演 7.8%

盲導犬ユーザーやその家族など当事者から直接聞く話 13.3% SNS(一般人からの投稿) 16.6%

インフルエンサー、YouTuber、TikTokクリエイター、Vtuberからの発信 18.7%

街頭イベント 11.3% 訓練施設の見学 11.0% その他 0.1% 注目し意識される情報はない 30.2%

Q10. 現在の社会は、障害の有無に関わらず、誰もが平等にお店やサービスを利用できる環境が整っていると思いますか。

とてもそう思う 6.8% ややそう思う 24.0% あまりそう思わない 49.8% 全くそう思わない 19.4%

Q11. 障害の有無に関わらず、全ての人が平等にお店やサービスを利用できることは、重要だと思いますか。

とてもそう思う 38.3% ややそう思う 39.6% あまりそう思わない 13.8% 全くそう思わない 8.4%

Q12. 視覚障害者について、以下のことを知っていますか。

①視覚障害者の見え方が人により異なること

知っている 68.1% 知らない 31.9%

②視覚障害者全員が点字を読めるわけではないこと

知っている 56.8% 知らない 43.2%

Q13. 視覚障害について、どのような見え方があることを知っていますか。ご存じのものを全てご選択ください。

全く見えない(盲) 72.5% ぼやけて見える(視力低下) 55.0% 見える範囲が狭い(視野狭窄など) 49.1%

暗い場所では見えにくい(夜盲) 33.4% まぶしさを強く感じて目が痛い(羞明) 27.7%

視界が白っぽく見える(白濁) 36.1% 歪んで見える(歪視) 27.1% わからない 15.9%

その他 0.3% (その他の内容:色覚異常)

**Q14. 視覚障害者が困っている場面に遭遇したことはありますか。**

遭遇したことはある 34.8% 遭遇したことはない 65.3%

**Q15. 視覚障害者が困っている場面に遭遇したことがある方にお伺いします。**

それはどのような場面でしたか。具体的に教えてください。（自由回答）

回答 417 名。内容を一部抜粋

- ・周りが騒がしかったのか、青信号になっても、動き始めるのに困っている様子でした。
- ・横断歩道の視覚障害者用の音楽が鳴るボタンを押しても鳴らなくて困っていた
- ・点字ブロックに物が置かれていて通りながら歩けなくなっていた
- ・自分の職場の前に自転車が停まっていて戸惑っていたので声を掛けて入り口まで誘導しました。  
いつもの場所でも障害物があるだけで混乱してしまうんだなと思いました。
- ・人混みを歩いていたので、方向がわからなくなっている様子だった。
- ・通りのビルが工事中で歩道に足場がせり出していたので、ぶつかる前に工事中だと知らせ、誘導した。
- ・駅のホームで乗るべき電車を迷っていたので手を引いて電車に座る所まで手助けした。
- ・バスに乗る際に、行き先案内のアナウンスがないため、どのバスに乗れば分からず困惑していた。
- ・バス停でいつも止まる所にバスが止まらなかった。
- ・エレベーターからおりるとき今何階なのか分からないようだった
- ・食品を販売しているお店の店員で働いていた時に、聞いてきた事を説明しながら対応していった。
- ・芳名録を記入するシーンで行やマスが見えづらく、代筆を頼めそうな方が近くにいなかった。
- ・自動販売機で飲み物を買おうとしていて手伝った。
- ・駅の切符売り場で小銭がばらけて困っていたので周りの人と一緒に拾うのを手伝った
- ・盲導犬をかわいがる子供がいて、非常に困っていた。

**Q16. 視覚障害者へサポートのために声をかけたことがありますか。**

声をかけたことがある 15.1% 声をかけたことがない 31.3%

声をかけるような場面に遭遇したことがない 53.6%

**Q17. 視覚障害者に声をかけることに抵抗がありますか。**

とても抵抗がある 10.2% やや抵抗がある 45.3% あまり抵抗がない 29.2% 全く抵抗がない 15.3%

**Q18. あなたが視覚障害者に声をかけることに抵抗があるのはなぜですか。（自由回答）**

回答 666 名。以下一部意見抜粋。

- ・どう声をかけたらいいのかわからないし、どのような声かけをしたら嬉しいのかわからないから。
- ・うまく意思疎通して、案内ができるかどうか不安だから。
- ・どうやって手助けになることができるかわからないから、躊躇てしまいます。
- ・私が助けになれるかどうかがわからない、聞かれたことにしっかりと答えられるかが不安だから。
- ・どこまで手を出せばいいのか分からない。自分で出来る事は、自分でされたいと思うから。
- ・声をかけるとかえって迷惑にならないか、適切な事ではないことをしてしまはないか不安。
- ・本当に困っているのかどうかわからず、困っていないのに声をかけたら悪いと思うから。
- ・サポートを必要としているのか判断に困る、気分を害されたらなどの不安がある。
- ・声をかけた事で、より困らせてしまうかもしれないと思うから。
- ・突然声をかけて驚かせないか、声かけのタイミングが相手に対して適しているのか心配。
- ・余計なことをしてしまわないか不安だから。
- ・声をかけても断られたり、逆にその方の迷惑になるかもしれないと思う気持ちがあるため。
- ・お声かけすることにより不快な思いを感じられる方もいらっしゃると思うので
- ・声をかけても断られたらショックだから
- ・その人が本当に視覚障害者なのかが側から見たらわかりにくいから。

**Q19. あなたは困っている視覚障害者に出会ったらサポートしたいと思いますか。**

とてもそう思う 22.2% ややそう思う 53.6% あまりそう思わない 16.9% 全くそう思わない 7.3%

**Q20. 視覚障害者や盲導犬ユーザーを支援する社会活動に参加したいと思いませんか。**

①寄付

とても参加したい 7.3% やや参加したい 38.0% あまり参加したくない 31.4% 参加したくない 23.3%

②ボランティア

とても参加したい 5.3% やや参加したい 32.8% あまり参加したくない 36.8% 参加したくない 25.1%

③SNS 発信(啓蒙活動)

とても参加したい 3.9% やや参加したい 21.7% あまり参加したくない 40.2% 参加したくない 34.3%

**Q21. 視覚障害者や盲導犬ユーザーを支援する社会活動に参加・実施したことはありますか。**

①寄付

参加・実施したことがあり、今も継続している 5.4%

参加・実施したことがあるが、今はしていない 16.5% 参加・実施したことはない 78.1%

②ボランティア

参加・実施したことがあり、今も継続している 3.7%

参加・実施したことがあるが、今はしていない 9.0% 参加・実施したことはない 87.3%

③SNS 発信(啓蒙活動)

参加・実施したことがあり、今も継続している 3.5%

参加・実施したことがあるが、今はしていない 5.3% 参加・実施したことはない 91.3%

**Q22. 前問で「参加・実施したことがあるが、今はしていない」とお答えの方にお伺いします。**

なぜ今は継続していないのでしょうか。理由をお聞かせください。（自由回答）

寄付(198人回答)

- 自身の環境が変わり、支援を継続できる状況ではなくなった
- 募金の対象が障害者から災害や戦争の被害者に変わったから

ボランティア(108人回答)

- 学生の時は行っていたが、社会人になって時間が無くなってしまったから
- 学校にはボランティア募集があったが社会人にはそういうのがない

SNS(63人回答)

- SNS自体から離れていいっているため
- 発信するような機会が無かったから

**Q23. 視覚障害者や盲導犬ユーザーを支援する社会活動について、「参加したいけど参加したことはない」と回答されましたか。それはなぜですか。（Q20で「参加したい」Q21で「参加・実施したことはない」と回答した方）**

①寄付

忙しくて時間の確保ができない 7.2% 支援・参加する場所が近くにない 23.5%

自分でできるか不安(体力やスキルに不安) 11.1% 周囲にそうした活動をしている人がいない 13.6%

金銭的に負担を感じる 34.9% 団体がどのようなことをしているのか・信用できるかわからない 16.9%

支援・参加の方法がわからない 30.1% 支援したことで、どのように役立つかがわからない 15.1%

継続的に支援ができるかわからない 21.7% その他 0.9%

②ボランティア

忙しくて時間の確保ができない 27.6% 支援・参加する場所が近くにない 30.6%

自分でできるか不安(体力やスキルに不安) 28.8% 周囲にそうした活動をしている人がいない 21.7%

金銭的に負担を感じる 16.0% 団体がどのようなことをしているのか・信用できるかわからない 15.7%

支援・参加の方法がわからない 36.8% 支援したことで、どのように役立つかがわからない 11.6%

継続的に支援ができるかわからない 23.1% その他 0%

③SNS 発信(啓蒙活動)

忙しくて時間の確保ができない 14.7% 支援・参加する場所が近くにない 15.2%

自分でできるか不安(体力やスキルに不安) 25.9% 周囲にそうした活動をしている人がいない 25.4%

金銭的に負担を感じる 12.1% 団体がどのようなことをしているのか・信用できるかわからない 17.9%

支援・参加の方法がわからない 33.9% 支援したことで、どのように役立つかがわからない 20.1%

継続的に支援ができるかわからない 19.2% その他 0.9%

**Q24. 盲導犬と聞いたときの、以下のイメージはどの程度あてはまりますか。**

①頭が良い、利口だ

とてもあてはまる 59.9% ややあてはまる 27.8% あまりあてはまらない 7.0% 全くあてはまらない 5.3%

②頑張っている

とてもあてはまる 50.3% ややあてはまる 36.1% あまりあてはまらない 7.8% 全くあてはまらない 5.8%

③かわいい

とてもあてはまる 22.8% ややあてはまる 45.3% あまりあてはまらない 22.6% 全くあてはまらない 9.4%

④幸せそう

とてもあてはまる 6.0% ややあてはまる 39.5% あまりあてはまらない 44.3% 全くあてはまらない 10.3%

⑤楽しそう

とてもあてはまる 4.8% ややあてはまる 25.6% あまりあてはまらない 51.3% 全くあてはまらない 18.4%

⑥従順だ

とてもあてはまる 41.4% ややあてはまる 42.0% あまりあてはまらない 10.5% 全くあてはまらない 6.1%

⑦健気だ

とてもあてはまる 31.4% ややあてはまる 46.7% あまりあてはまらない 14.3% 全くあてはまらない 7.6%

⑧大変そう・かわいそう

とてもあてはまる 7.0% ややあてはまる 32.3% あまりあてはまらない 41.2% 全くあてはまらない 19.6%

⑨こわい

とてもあてはまる 2.0% ややあてはまる 8.1% あまりあてはまらない 35.8% 全くあてはまらない 54.1%

⑩不衛生だ

とてもあてはまる 1.6% ややあてはまる 6.5% あまりあてはまらない 37.0% 全くあてはまらない 54.9%

その他（回答 521 名。以下一部意見抜粋）

・賢い、優しい、おとなしい、かっこいい

・非常に訓練されたよきパートナーだと思う

・とても人間と仲良しになると信頼関係が生まれて家族のようになる

・盲導犬に向いた素質の犬がその能力を活かして訓練されている

・訓練を受けて合格した犬だけが活躍している

・ペットの犬よりは縛られて自由がなさそう

・毎日 2~4 時間、盲導犬としてのお仕事を頑張っている

・無闇に撫でたりしない等、接し方に配慮が必要

・もう少し世間に認められてほしい、ロボットや杖の方が良いと思う など

**Q25. 盲導犬に以下のイメージをお持ちの方にお伺いします。なぜそのように思われますか。**

幸せそうでない・楽しそうでない・大変そう・かわいそう

1008 件の回答。以下内容を抽出。（内 413 件は具体的な理由なし）

- ・あまり犬らしい生活ではなく、働かされてる感じなので
- ・犬がそうしたくてやっているのか分からないから
- ・感情を抑制しているイメージ
- ・自分の意思ではなく人のために動かなければならぬから
- ・本当に幸せな子もいるかもしれないがそうでない子もあるのかもと思った
- ・ずっと周りに気を遣っていて疲れないのか心配
- ・たぶん犬は仕事中緊張しているから
- ・好きに散歩しているのとは違うから
- ・視覚障害の人をずっとサポートしていて疲れてそうだから
- ・盲導犬を必要とする人はお世話がどこまで出来るのかという疑問があるから
- ・ペットのように甘えたり、好きな事ができないから
- ・覚えることがたくさんありそだから、普通のペットのとは違ってのびのびはできなさそう
- ・楽しくてサポートをしているイメージが湧かなかつた
- ・指示に従っている姿しか見たことがないから。
- ・視覚障害者と盲導犬に無理解の人も居ると思うから

**Q26. 盲導犬は「不衛生だ」というイメージをお持ちの方にお伺いします。なぜ盲導犬は不衛生だと思いますか。**

97 件の回答あり。以下内容抽出。（内 56 件は具体的な理由なし）

- ・盲導犬に限らず動物全般、不衛生だと思う
- ・色んなところを歩いているし飼い主もちゃんとケアできてないだろうから
- ・清潔感を気にしてなさそう
- ・外で歩いているのに足とか拭いているかわからないから

**Q27. あなたはこれまでに、盲導犬ユーザーと接する機会がありましたか。**

普段から接する機会がある 1.5% 何度か見かける・接する機会があった 16.2%

1 度は見かける・接する機会があった 14.3% これまで接したことない 68.0%

**Q28. 前問で「普段から接する機会がある」「何度か見かける・接する機会があった」「1 度は見かける・接する機会があった」と回答した方に伺います。どこで盲導犬ユーザーと接しましたか。**

あてはまるものを全てご選択ください。

家族・知人などに盲導犬ユーザーがいる 2.9%

職場や学校など普段訪れる場所を盲導犬ユーザーが利用している 19.0%

外出先で、盲導犬ユーザーを見かけたことがある・接したことがある 82.0%

その他 1.8% (その他の内容：同じマンションに住んでいる、友人の父)

**Q29. 盲導犬がいたとしても、盲導犬ユーザーへのサポートは必要だと思いますか。**

必要だと思う 29.3% やや必要だと思う 51.3% あまり必要だと思わない 10.7% 全く必要だと思わない 8.8%

**Q30. 盲導犬の日々の世話や管理は、視覚障害のある盲導犬ユーザーにできると思いますか。**

①ご飯を適切な量で準備して与える

全て自分でできる 24.5% 人の手を借りればできる 53.8% できない(他の人が行う)21.7%

②周囲を汚さずに排泄をさせる

全て自分でできる 17.3% 人の手を借りればできる 55.3% できない(他の人が行う)27.4%

③犬に我慢させないタイミングで排泄させる

全て自分でできる 19.0% 人の手を借りればできる 51.1% できない(他の人が行う)29.9%

④ブラッシングやシャンプーを行う

全て自分でできる 17.1% 人の手を借りればできる 52.2% できない(他の人が行う)30.8%

⑤適切な運動量の確保(遊ぶ・散歩など)

全て自分でできる 20.2% 人の手を借りればできる 53.3% できない(他の人が行う)26.5%

⑥場所に応じて適切に犬の行動を管理する

全て自分でできる 19.1% 人の手を借りればできる 53.7% できない(他の人が行う)27.3%

⑦予防注射などのため病院に行く

全て自分でできる 19.0% 人の手を借りればできる 54.4% できない(他の人が行う)26.6%

⑧けがなどの異変に気づき、対処する

全て自分でできる 8.6% 人の手を借りればできる 54.2% できない(他の人が行う)37.3%

**Q31. 盲導犬ユーザーが盲導犬の世話を自分ですることについて、どう思いますか。**

1200 件の回答あり。以下内容抜粋。(内 380 件は具体的な理由なし)

- ・お互いが助け合う関係性を持てるのでより信頼関係が強くなると思う。
- ・コミュニケーションであり、パートナーとして信頼関係ができるので良いと思います。
- ・自分のことも大変だろうから、すごいと思います。
- ・できる限りのことを自分でやるのは当たり前だと思う。
- ・長い間一緒に生活を共にしているので、ある程度のことは安易に世話ができると思う。
- ・日常的なお世話は出来そうだが、簡単ではなさそう。
- ・かなり大変なことだと思う。ちゃんとできるのかな。
- ・目が見えない状態で行き届かないところも出てしまうように思う
- ・どうしても行き届かない点があると思うので、サポートする人の存在が必要。
- ・視覚に障害があるにも関わらず犬のお世話をするのは困難に思える。
- ・あまりお世話をしているというイメージがわからない
- ・犬のお世話をしたことがないし、視覚障害もないでわからない

**Q32. 盲導犬や盲導犬ユーザーについて、以下のことをご存知ですか。**

①盲導犬ユーザー以外が、盲導犬に対して声をかけたり、触ったり、食べ物や飲み物を与えてはいけないこと

知っている 51.0% 知らない 49.0%

②盲導犬が盲導犬ユーザーを目的地まで連れて行くわけではない

(実際は盲導犬ユーザーが、道順を覚えて盲導犬に指示を出す)こと

知っている 35.1% 知らない 64.9%

③盲導犬ユーザーが訓練によって犬の管理や世話に関する知識や技術を習得していること

知っている 42.4% 知らない 57.6%

Q33. 盲導犬が身につけているハーネスには「盲導犬」と表示されていることを知っていますか。

知っている 33.8% 知らない 66.2%

Q34. あなたは「補助犬ステッカー」の存在を知っていますか。

知っている 25.3% 見たことがある程度 32.3% 見たことない、知らない 42.5%

Q35. あなたがこの中で、盲導犬同伴で利用できると思う施設をすべてお選びください。

飲食店(レストランで同じ席の利用するなど)45.0% 宿泊施設(旅館で一緒の部屋に宿泊する)40.4%  
病院(一緒に診察室に入る)39.8% スーパーに入店 46.5% 賃貸物件(ペット可でない部屋に住む)22.0%  
美容院 32.9% 映画館(ユーザーの席の足元で待機)25.7%  
公共交通機関(バス)52.8% 公共交通機関(タクシー)41.6% 公共交通機関(鉄道)54.7%  
その他 0.5% 施設への同伴はできないと思う 21.0%

Q36. あなたは身体障害者補助犬法を知っていますか。

法律の存在を知っており、内容をほぼ理解している 4.3%

法律の存在は知っているが中身は知らない 23.2% 法律の存在を知らない 72.6%

Q37. 不特定多数の人が利用する施設では、盲導犬を同伴して利用することが、法的に認められていることを知っていますか。

知っている 36.3% 知らない 63.8%

Q38. 盲導犬を同伴して施設等を利用することが法的に認められているにもかかわらず、毎年多くの盲導犬ユーザーが「入店や利用を断られている」ということを知っていますか。

知っている 40.2% 知らない 59.8%

Q39. 盲導犬を同伴して施設等を利用することが法的に認められていることについて、

あなたはどのように思いますか。

とてもよいと思う 46.3% ややよいと思う 36.9% あまりよいと思わない 9.0% 全くよいと思わない 7.8%

Q40. 前問で「あまりよいと思わない」、「全くよいと思わない」と回答した理由を教えてください。

回答 202 名。以下内容抜粋。(内 147 件は具体的な理由なし)

- ・普通は動物を施設には入れないから
- ・視覚障害者と同じようにアレルギーを持っている人も多くいるため
- ・自分の家族に喘息持ちがいるため、あまり動物に街中にいてほしくない
- ・犬が苦手な人もいると思う
- ・衛生的な懸念がある他、吠えてくるのではないかと周りを怖がらせるため
- ・ユーザーの方が必要としているのは分かるが、やはり衛生的な懸念がある
- ・お店側に過度な負担が生じていそう
- ・周りを怖がらせるため、施設ごとに判断を委ねられるようにするべきだと思う
- ・店の判断を尊重すべき。盲導犬は犬には変わりない
- ・法律と現場が食い違っているから

**Q41. 身体障害者補助犬法では、不特定多数の人が利用する施設で盲導犬を同伴して受け入れることが義務とされていますが、あなたは、補助犬法は誰のための法律だと思いますか、あてはまるものを全てご選択ください。**

障害者のため 59.9% 社会全体のため 52.9% 犬のため 29.2% 上記いずれも当てはまらない 11.4%

**Q42. あなたは、身体障害者補助犬法があることについてどのように感じますか。**

①アレルギーのある人への配慮が足りないと感じる

とてもそう思う 5.9% ややそう思う 34.5% あまりそう思わない 42.8% 全くそう思わない 16.8%

②犬嫌いの人への配慮が足りないと感じる

とてもそう思う 5.5% ややそう思う 26.2% あまりそう思わない 47.3% 全くそう思わない 21.1%

③受け入れるお店側への配慮が足りないと感じる

とてもそう思う 10.3% ややそう思う 32.9% あまりそう思わない 40.3% 全くそう思わない 16.4%

④障害者がお店等を利用する権利を考えると妥当だと感じる

とてもそう思う 24.5% ややそう思う 46.5% あまりそう思わない 20.2% 全くそう思わない 8.8%

**Q43. あなたがよく利用する店舗・施設・交通機関を、盲導犬ユーザーにも利用してほしいと思いますか。**

とてもそう思う 28.6% ややそう思う 48.3% あまりそう思わない 15.6% まったく思わない 7.6%

**Q44. あなたがよく利用する店舗・施設・交通機関を、盲導犬ユーザーと一緒に利用するとしたら、心配ですか。**

①毛などで服が汚れないか

とても心配 5.6% やや心配 23.5% あまり心配ではない 41.5% 全く心配ない 29.4%

②店内や施設を汚さないか

とても心配 5.1% やや心配 25.0% あまり心配ではない 41.2% 全く心配ない 28.8%

③病気などを持っていないか・うつされないか

とても心配 5.1% やや心配 18.2% あまり心配ではない 42.6% 全く心配ない 34.2%

④盲導犬が落ち着かない(吠える、歩き回る、飛びつく)のではないか

とても心配 4.6% やや心配 19.8% あまり心配ではない 41.1% 全く心配ない 34.5%

⑤犬の体が大きいので、通路などが塞がれるのではないか

とても心配 5.1% やや心配 25.8% あまり心配ではない 40.1% 全く心配ない 29.1%

⑥施設や商品などを傷つけたり壊したりしないか

とても心配 5.0% やや心配 20.3% あまり心配ではない 42.0% 全く心配ない 32.8%

⑦排泄で施設を汚さないか

とても心配 5.0% やや心配 24.3% あまり心配ではない 40.4% 全く心配ない 30.3%

⑧他の利用者へ心配や迷惑をかけないか

とても心配 5.1% やや心配 24.8% あまり心配ではない 39.4% 全く心配ない 30.7%

**Q45. 改めてお聞きします。**

障害の有無に問わらず、全ての人が平等にお店やサービスを利用できるべきだと思いますか。

とてもそう思う 39.7% ややそう思う 39.6% あまりそう思わない 13.3% 全くそう思わない 7.5%